

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日産先進衝突実験場 2号棟 新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県横須賀市夏島町1番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	100 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年6月28日
敷地面積	9,705 m <sup>2</sup>	作成者	三井住友建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
建築面積	5,586 m <sup>2</sup>	確認日	2023年6月30日
延床面積	9,431 m <sup>2</sup>	確認者	三井住友建設株式会社横浜支店一級建築士事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	十分な作業スペースが確保でき、かつ、隣接する既存実験棟に調和するような外観となる建物ボリュームとした。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	ほぼ全面に告示対象外の建材およびJIS規格のF☆☆☆☆を使用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 既存実験棟と調和した外観としている。
<b>LR1 エネルギー</b>	外壁に断熱性能が高い材料の使用	<b>LR3 敷地外環境</b> 管理用車両、荷捌き用車両用駐車スペースを計画した。
<b>Q2 サービス性能</b>	床面は防汚性・耐水性等の高い材を使用している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	内装仕上がりサイクル品を使用した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される